

化粧品の各種防腐処方設計と 保存効力試験の実施

1名分料金で
2人目無料

セミナーURL <https://www.rdsc.co.jp/seminar/251173>

- ◆日時: 2025年11月10日(月) 10:30~16:30
- ◆会場: 江東区産業会館 第2会議室
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 国内化粧品企業開発部 杉原としひこ 氏

洗剤・雑貨、化粧品、医薬部外品の商品開発、評価試験を担当しています。近年化粧品の需要は国内・海外を含め増えています。

回収・クレーム生じさせない商品開発をするには効率的な防腐処方設計が必要です。また、菌によるトラブルを回避するために保存効力試験を実施することが重要です。

そこで、わかりやすく防腐と設計の基礎、保存効力試験について説明していきます。

処方を管理している方も成分・処方情報をみてどのように判断していいかの考え方について紹介いたします。

様々な分野、業種の方々ぜひ、ご参加ください。

1. 化粧品の防腐処方設計

- 1-1. 化粧品とは
- 1-2. 微生物とは、微生物学歴史
- 1-3. 汚染の種類
- 1-4. 防腐とは
- 1-5. 化粧品基準-防腐剤
- 1-6. 防腐作用がある成分
- 1-7. 安全性とは、統計学
- 1-8. 安定性とは、安定-不安定、加速・過酷試験
- 1-9. 計算による防腐効果の予測
- 1-10. 各種設計ポイント シャンプー・ボディソープ
- 1-11. 各種設計ポイント トリートメント
- 1-12. 各種設計ポイント 入浴料・クレンジングオイル

1-13. 各種設計ポイント 化粧水

1-14. 各種設計ポイント 乳液・クリーム

1-15. 各種設計ポイント ボディ・ヘアオイル

1-16. 各種設計ポイント 菌みがき類

1-17. 各種設計ポイント 香水

1-18. 市場トラブル事例

2. 保存効力試験の進め方

- 2-1. 保存効力試験とは
- 2-2. 菌種
- 2-3. 保存効力試験規格
- 2-4. 試験手順
- 2-5. 試験結果の解析
- 2-6. 試験結果の予測

『保存効力試験』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>